

第1回国立天文台コミュニティ間意思疎通推進委員会議事抄録

日 時 令和2年5月21日（木） 15:30～17:05
場 所 国立天文台中央棟（東）第二会議室（Zoom）
出席者 観山（委員長）、佐藤（副委員長）、岡村、柴田、杉山、林、山本各委員
欠席者 なし
陪席者 国立天文台事務部 原田参事、永田総務課長、古畑総務課課長補佐、川島
総務課総務係長

議 事

1. 委員紹介及び委員会規則について

原田参事より、資料1及び資料2に基づき、委員の紹介及び国立天文台コミュニティ間意思疎通推進委員会規則案（以下「委員会規則案」という。）の説明があった。

委員会規則案について、第3条の「天文学コミュニティ等」には、国立天文台の研究者及び職員も含まれる旨を運営会議で説明することとした。

また、委員会規則案第3条第3号及び第4号の「国立天文台」を「国立天文台執行部」に修正することとした。

2. 委員長などの決定について

委員長は観山委員、副委員長は佐藤委員に決定した。

3. 委員会の進め方について

委員会の開催は2週間に1回のペースとし、8月末を目途に中間報告をまとめる努力をすることとなった。

また、委員会の公開ホームページを作成し、議事概要及び関係規則を掲載することとなった。

4. 経緯の説明について

観山委員長より、これまでの経緯について説明があった。具体的には、

- ・コミュニティからtennetをはじめとして国立天文台運営に関して多くの意見書が発信されたこと、それを受けて
- ・意見を表明したコミュニティの数名と、国立天文台幹部との懇談会「国立天文台と一部の天文学コミュニティメンバーの意見交換会」が4月3日、ZOOM会議で開かれたこと、
- ・それに基づいて、国立天文台のもとに正式の委員会としてこの「国立天文台コミュニティ間意思疎通推進委員会（仮称）」が発足することが決められたこと、
- ・また委員人選は国立天文台の関連7コミュニティ（太陽研究者連絡会、高エネルギー宇宙物理連絡会、VLBI懇談会、理論天文学宇宙物理学懇談会、宇宙電波懇談会、天

文・天体物理若手の会、光学赤外線天文連絡会）をはじめ、個人からの推薦も広く受けて観山及び佐藤で決めることが了承されたこと等が報告された。

コミュニティや個人などから、この委員会で議論する課題について情報提供・要望・意見書が20通余り寄せられたことなども報告された。

5. 今回の問題に関する自由討議

委員会にコミュニティ等から寄せられた意見書を委員で共有し、今回の問題について自由討論を行なった。

6. 今後の議題案及びヒヤリングについて

次回委員会のテーマを決め、関係者のヒヤリングを実施することとなった。ヒヤリング対象者との日程調整等は観山委員長が行うこととした。

以上